

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第 37 号

特別展 宮代の水害

～明治 43 年・昭和 22 年の大水害の記憶～

宮代町は、古くからたびたび洪水にあつてきました。ことに、明治 43 年、昭和 22 年の大水害は、今日なおその様子が語り継がれ、あるいは「埼玉県水害誌」、「百間村水害誌」など記録として残されています。こうした水害から過去の自然災害の恐ろしさを知り、それらを教訓として、また水害とたたかった人々の記憶をつなぎ、改めて水害について考える機会になればと特別展を開催することとなりました。

明治 43 年の大水害

明治 43 年 8 月 10 日中条堤(熊谷市)が決潰しこのため濁流は北埼玉郡、南埼玉郡、北葛飾郡を経て、さらに荒川の濁流と合流して、東京の東部へと達しました(『明治 43 年埼玉県水害誌』)。

埼玉県内の被害は、死者 324 人、負傷 77 人、計 401 人を出し、家屋は、家屋全半壊 2,214 棟、家屋破損 24,849 棟、家屋流失 1,631 棟、床上浸水 84,538 棟を数えました(『明治 43 年埼玉県水害誌』)。家屋財産の損害額は当時の金額で 3,005,558 円、農産物の損害 24,401,729 円と、大きな被害となりました(『新編 埼玉県史通史

編 5』)。

宮代の被害 百間村水害誌を中心として一
百間村水害誌

百間村水害誌によると、「夜中に属せしを以て人々の狼狽一方ならず。親子相助けんとして能はず、近隣相救はんとして成らず。」という有様であったと伝えています。学校や役場その他、浸水しなかった家に避難し、収容された人が多数に及びました。

被害状況は、村全体の 93%、田、原野、池地、雑地の総て、畑の 95%、宅地の 84%、山林の 60% が浸水という有様でした。また、住宅は全戸数 617 戸のうち、床上浸水 371 戸(60%)、床下浸水 111 戸(18%)、合計 482 戸(78%)に及びました。

災害後、島村繁村長は村民に呼びかけ義金(寄付金)を募り、3 艘の船(別に村費で 1 艘)を新造しました。これは「長く百間村民に対して後顧の憂いを断つと共に、公共的精神の増進を図るべく」計画され、造られました。





須賀村の状況

町域の須賀村については、埼玉県水害誌に青年会の活躍が記録されています。会員120名が破壊された道路の修繕に助力し、さらに種子購入を斡旋し、特に被害地作付法に関し農事講和会を主催し奨励に努めたとあります。

この大水害の須賀村の詳細な記録は現在のところ明らかではありませんが、百間村の状況等からも、被害は相当なものであったことが推察されます。

昭和22年(1947年)の大水害

戦後の混乱が続く昭和22年の秋、「カスリーン」台風による未曾有の水害が関東地方を襲いました。

台風は、紀伊半島沖を進み15日夜半房総半島沖をゆっくりと通過、東北洋上へと抜けて行きました。この間、県内では秩父611ミリなど山間部で比較的短時間に記録的な大量の雨を観測しています。なお、杉戸で167.8ミリ等と平野部では比較的少なかったようです。おりしも、河川の上流部では戦中、戦後に山林の木々が多量に伐採され保水能力が低下している中、多量の雨水が一挙に下流へと流れ込み、堤防決壊という大きな災害をもたらしました。

利根川は豪雨により次第に水かさが増し、栗橋付近では16日0時20分には9.17mと空前の記録を示し、ちょうどこの頃、北埼玉郡東村(現大利根町)の堤防が決壊しました。

このカスリーン台風による被害は、県内316市町村(当時)のうち実に72%に及びました。被災人口34万8,827人(12月1日調査)、死者84人、負傷者1,430人、行方不明12人を出しました。また、家屋の流出396戸、全壊725戸、半壊2,116戸、床上浸水4万4,855戸、床下浸水3万4,647戸(12月1日調査)を数え、被害額は当時の金額でおよそ100億円にも達しました。

宮代の被害



水没する我が家を見守る人々(埼玉県水害誌附録写真帳)より

町域全体の主な被害は、被災人口9,674人、橋の被害27か所、床上浸水1,502戸、床下浸水257戸、死者1名(12月1日調査)で、農作物の被害は、水稻520.5町歩、陸稲7.8町歩、サツマイモも53町歩に及びました。



山崎浅間神社前(9月19日)

百間村の被害は、床上浸水766戸、床下浸水257戸に達し、半壊した家屋2棟(伊草家文書)もありました。罹災人口5,626、農地も冠水面積水田288町歩、畑255町歩、合計543町歩で、冠水も長期にわたり、収穫がまったくないというところも数か所ありました。また、1名の尊い命が失われました。

一方、須賀村国納八河内では16日午後1時頃浸水、同7時ごろに辰新田に浸水し、全村ほとんど浸水しました。床上浸水736戸、被災人口4,048人を数え、備前堀等が決壊し、洪水が村内を襲いました。

9月16日から約10日間も続いた大水害も、人々が共に助け合い、必死の努力によって次第に収まり、復旧されて行きました。

第21回全国生涯学習フェスティバル まなびピア埼玉 2009 参加報告

10月30日(金)から11月3日(火・祝)までの5日間の日程で、「第21回全国生涯学習フェスティバル まなびピア埼玉 2009」が開催されました。

まなびピア埼玉 2009 は、あらゆる世代の人たちが、学ぶ楽しさや大切さを感じ、学びのきっかけづくりを提供する、全国規模のイベントです。

宮代町は、さいたまスーパーアリーナ内に設けられた「生涯学習見本市」のブースに出展、郷土の偉人である島村盛助氏を紹介する、パネル展示をおこないました。

会場では、多くの方がブースに立ち寄ってくださり、宮代町にもこんな方がいらしたのですねと驚かれる方がいらしたり、盛助氏の編さんした辞書を愛用していた思い出話を聞かせていただいたりなど、多くの成果が得られました。



県全域から約224万人もの来場者を迎え、盛況のうちに終了しました。次回は高知県で開催されるそうです。

町の偉人・島村盛助コーナーができます！

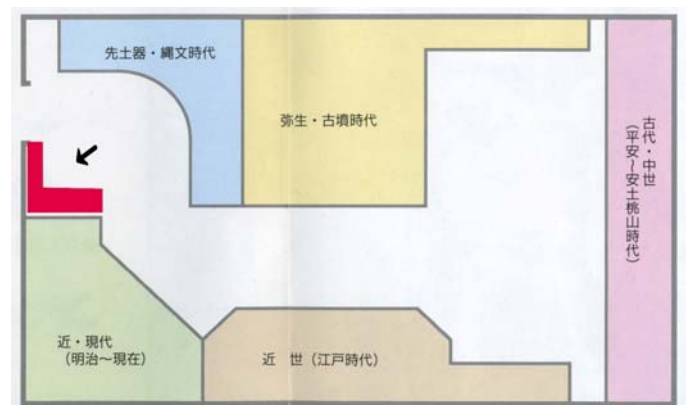
平成15年度に特別展「英文学者・島村盛助」を開催させていただいてからこれまで、郷土資料館では島村盛助氏に関する資料の収集や研究を進めてまいりました。

これにあわせ、町としても平成17年に「郷土の偉人・島村盛助氏の顕彰」を施策の1つに加えました。平成20年3月には道徳の副読本として、「～日本語と英語をつなぐ だれよりも言葉を大切にした英語学者～島村盛助」を刊行、中学校での英語教育を目前にした小学6年生の児童に、盛助氏の生き方について学んでもらっています。

また、今年の10月に開催された「第2回小中学校英語活動発表会」は、昨年からはじめられた島村盛助氏顕彰事業のひとつです。

さらに今年度は、補正予算として「埼玉県ふるさと創造資金・地域づくり支援」の補助金をいただけることになり、島村盛助氏関連資料について酸性紙の保存処理である「脱酸処理」をおこなえることになりました。この処理により、大切な資料の劣化速度を押さえることができ、より長く保存できるようになりました。

そしてこの補助金により、常設展示室内に「島村盛助氏コーナー」を設けさせていただくことになりました!! (予定場所は常設展示室入口より入ってすぐの右側です。図面では矢印で示しています。)



コーナーの展示では、盛助氏の生涯を紹介した年表や、作家としての作品、英文学者として精魂を込めて編さんした英和辞書など、盛助氏に関する情報が盛りだくさんになる予定です。完成は平成22年3月末の予定です。

展示の公開については広報などでお知らせしますので、お楽しみに！

予告 企画展「収蔵品で語る宮代の農耕」

宮代町は、水田と畑が概ね半々の地域で、古くから稲作や畑作が行われてきました。

ことに稲作は、町域では古墳時代前期まで人々の足跡が認められることから、少なくともおよそ 1,700 年前頃から行われていた事が明らかになっています。ことに江戸時代以降、新田開発によって水田の面積も拡大しました。

こうした、稲作に伴う道具も水田の田うないから始まって、苗代作り、田植え、稲の管理、刈り取り、脱穀等にいたる様々な工程と、それに伴う道具があります。それらは、時代とともに工夫され、変化し現在に至っています。

今回は、資料館に収蔵されている水田稲作に使われた各種の道具を展示します。主に、昭和 40 年代位までのもので、機械化される前、手

作業で稲作が行われていた頃の農具を展示し、かつての農村風景を農具を通して見ていただきたいと思います。ぜひご覧下さい。

開催期間 平成 22 年 1 月 9 日(土)～
平成 22 年 4 月 18 日(日)



ガーコン(足踏み脱穀機)

資料館日誌抄

- 7月18日 企画展「金原遺跡発掘出土品展Ⅲ」(10月18日まで)
- 9月29日 郷土資料館収蔵庫くん蒸作業(10月2日まで)
- 10月6日 笠原小学校4年生笠原沼展示見学(40名)
- 10月9日 地藏院遺跡試掘調査
- 10月14日 地藏院遺跡発掘調査(10月15日まで)
- 10月15日 山崎遺跡発掘調査(10月22日まで)
- 10月16日 百間小学校3年生資料館見学(76名)
- 10月24日 特別展「宮代の水害」(12月27日まで)
- 10月30日 生涯学習フェスティバル(11月3日まで)
- 11月12日 中遺跡試掘調査
- 11月14日 白岡町歴史を語る会見学(20名)
- 11月18日 道仏上遺跡試掘調査
- 11月19日 東小学校3年生総合学習(10名)
- 11月25日 中東遺跡試掘調査
- 11月25日 宮代町教育研究会社会科部資料館見学(6名)
- 11月29日 宮代町ボーイスカウト資料館見学(42名)

資料館寄贈者名簿

- | | |
|-------|----|
| 島村繁夫氏 | 史料 |
| 武田晴雄氏 | 民具 |
| 萩原一丸氏 | 民具 |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 37号

発行日 平成21年12月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>